

# 土砂災害に備えて

令和2年3月作成

土砂災害の危険のある箇所は、宮城県によって「土砂災害警戒区域」、「土砂災害特別警戒区域」の指定が進められており、岩沼市内では96箇所（令和2年3月現在）が指定されています。なお、今後新たに指定が追加される箇所もありますのでご注意ください。  
詳しくは、下記のホームページからご覧いただけます。  
宮城県ホームページ「土砂災害警戒区域等指定箇所」<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sabomizusi/kasyo.html>

## 避難に関する防災情報の入手方法

自分で情報を確認し、避難行動をとります。

### 携帯電話・スマートフォンへの緊急速報メールの発信

市から警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」や、警戒レベル4「避難勧告」、「避難指示（緊急）」等を発令する場合は、緊急速報メール（エリアメール）を発信します。

### 岩沼市のホームページ（防災・緊急情報）

市の防災情報について掲載しています。

<https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/bo-sai/bosai-bohan/bo-sai/joho.html>




### エフエムいわぬま

災害発生の際には、エフエムいわぬまにて市から情報を発信します。

**FM 77.9MHz**  
<http://fm779.com>

### 防災行政無線や広報車等

防災行政無線（屋外スピーカー）や広報車等を使用し、情報をお伝えします。



### テレビのdボタン（データ放送）

河川情報、雨量情報は、NHKの地上デジタル放送（データ放送）から入手できます。また、気象情報や避難情報も見ることができます。

- ① テレビのチャンネルをNHK局に合わせて、リモコンのdボタンを押す。
- ② データ放送画面の「防災・生活情報」を選択する。



## 避難情報が出たら情報を確認し、直ちに避難行動をとります！「警戒レベル3」で高齢者等は避難、「警戒レベル4」で全員避難

市では住民のみなさんが適切な避難行動をとれるよう、適切なタイミングでわかりやすい避難情報の発信に努めていきます。

警戒レベル	避難情報など	避難行動（とるべき行動）
警戒レベル <b>5</b> [市が発令]	災害発生情報	既に災害が発生しています。命を守るための最善の行動をとります。
警戒レベル <b>4</b> [市が発令] <b>全員避難</b>	避難勧告 避難指示（緊急）	速やかに避難しましょう。避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル <b>3</b> [市が発令] <b>高齢者等は避難</b>	避難準備・ 高齢者等避難開始	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル <b>2</b> [気象庁が発表]	大雨注意報 洪水注意報	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル <b>1</b> [気象庁が発表]	早期注意情報 （警報級の可能性）	今後、大雨警報などが発表される可能性があります。災害への心構えを高めましょう。

## 前兆現象を見つけたら、市役所（または消防署）に通報し、安全な場所に避難しましょう！

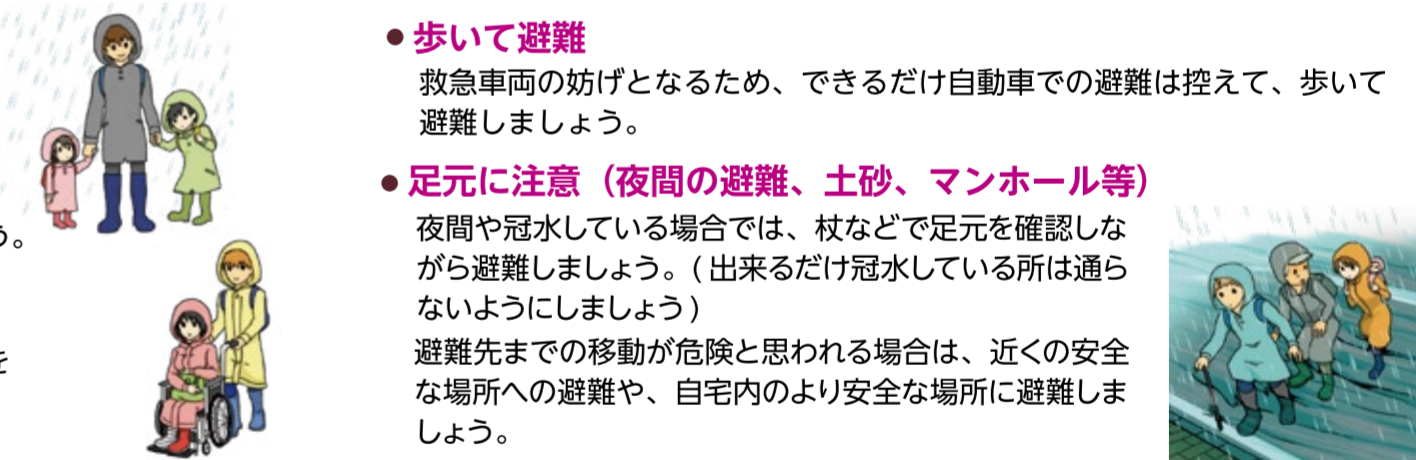
種類	急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）	土石流	地すべり
現象	雨や地震によって、斜面が急激に崩れ落ちる現象 	大雨によって、土砂が水とともに高速で流れ下る現象 	地下水と重力の影響で、斜面がゆっくりと下方へ移動する現象 
注意すべき前兆	・小石がパラパラと落ちる ・亀裂の発生 ・地鳴り ・斜面のはらみ出し	・地鳴り ・土臭いにおい ・流水の異常なにごり ・流水量の急激な減少 ・近くで土石流が発生している	・湧水量の変化 ・井戸水のごり ・亀裂や段差の発生、拡大 ・建物の変形
注意事項	地震後の降雨は特に注意しましょう。	近年は局地的で突発的な豪雨が増えており、前兆なく発生することもあります。	裏山の環境変化による斜面の不安定化にも注意しましょう。 例）伐採が進んだ場合や、土地が造成された場合など

## 平時の備え

<h3>避難ルートの確認</h3> <p>避難所までの行き方を確認しておきましょう。災害時に通れなくなる道もあるので、複数のルートを確認すると良いでしょう。</p>	<h3>非常時持ち出し品の準備</h3> <p>非常時の持ち出し品を事前に袋やリュックサックにまとめておき、非常時にすぐに避難できるようにしておきましょう。</p>	<h3>危険箇所の確認</h3> <p>日ごろから、自宅や勤務先、よく訪れる場所の近くに危険な箇所はないか、確認しておきましょう。</p>
--	--	---

## 避難のときは、こんなことに気をつけましょう！

- **火気の始末**
- **動きやすい格好**
- **2人以上で避難**  
近所の方と声を掛け合って避難しましょう。
- **要配慮者の避難にご協力**  
お年寄り、障がいのある方、病气やけがをしている方の避難にご協力ください。
- **歩いて避難**  
救急車両の妨げとなるため、できるだけ自動車での避難は控えて、歩いて避難しましょう。
- **足元に注意（夜間の避難、土砂、マンホール等）**  
夜間や冠水している場合は、杖などで足元を確認しながら避難しましょう。（出来るだけ冠水している所は通らないようにしましょう）  
避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。



## 平時から、非常用持ち出し品を用意しておきましょう！

<h3>非常食品</h3> <p>缶詰や乾パンなど、そのままか、簡単な調理で食べられるもの。ミネラルウォーター、缶切りなども。1日分以上の水と非常食があると望ましい。</p> 	<h3>救急薬品</h3> <p>絆創膏、包帯、傷薬、鎮痛剤、胃腸薬など。持病のある人は、薬（お薬手帳）も忘れずに。</p> 	<h3>懐中電灯</h3> <p>できれば1人ひとつ。換えの電池も忘れずに。</p> 
<h3>貴重品</h3> <p>現金（公衆電話用に10円硬貨もあれば便利）、通帳、免許証、保険証、印鑑、氏名表（血液型、氏名、年齢、住所などが確認できるもの）など。</p> 	<h3>ラジオや充電器</h3> <p>携帯ラジオや防災ラジオなど、停電時でも情報取得できるもの。スマホのバッテリーや充電器、できれば電池式のもの。</p> 	<h3>その他</h3> <p>上着・下着、タオル、軍手、ヘルメット、レインコート、レジャーシート、ティッシュペーパー、ライター、カイロ、食品用ラップ、生理用品など</p> 

